



あつまれ！飯倉っこ！

令和 8 年 度
港区立飯倉保育園
(3583)1786

飯倉保育園では、昨年度から文化学園大学杉並高等学校の学生と連携し、SDGs をテーマにした環境学習に取り組んでいます。子ども達が遊びや製作を楽しみながら、身近な環境について考えることができるよう、年齢や発達に合わせた遊びや活動を各クラスで展開してもらいました。高校生と一緒に遊んだり、さまざまな体験をしたりすることも、子ども達の楽しみの一つとなっています。今年度は7月と8月の2回、環境学習を行いました。その様子を紹介します。

7月は「自然」をテーマに、各クラス制作を楽しみました。

乳児クラスは、絵の具を入れたジップロックの上から指で絵の具を伸ばし、大地や海をイメージした制作遊びをしました。3歳児クラスは、海の生き物のイラストにちぎった紙を貼って模様づけ、4歳児クラスは折り紙を使って動物を作り、5歳児クラスでは植物や動物を制作しました。

それぞれのクラスで作った作品を大きな紙に貼り合わせ、みんなで一つの大きな「自然」をテーマにした作品を完成させました。年齢ごとに異なる方法で楽しみながら、自然への興味やイメージを広げることができました。



8月は「環境」をテーマに年齢に合わせた遊びを楽しみました。



<乳児クラス>

高校生の皆さんが廃材を使って作ったマラカスを手に持ち、一緒にダンスを楽しみました。マラカスを振るとさまざまな音が鳴ることに興味を持ち、馴染みのある曲が流れると、ノリノリで体を動かす子ども達。初めは少し緊張した様子もありましたが、高校生の皆さんと一緒に遊ぶ中で少しずつ興味を持ち、関わろうとする姿も見られました。



<4歳児クラス>

合言葉は「紙のリサイクル」
いらなくなった色紙を細かくちぎって水でふやかしたものを使い、紙すき体験をしました。紙すきの枠に入れて形を整え、水分をしっかりと取ってから乾かし、新しい紙を作ります。初めての体験に興味津々です。高校生の皆さんに教えてもらいながら、一人ひとり意欲的に取り組み、紙が新しいものに生まれ変わる過程を楽しみました。



<3歳児クラス>

合言葉は「マイクロプラスチック」
海に見立てたスズランテープの中から、ペットボトルやお菓子の写真をゴミに見立て探す「ゴミ拾い遊び」を楽しみました。「みつけた！」と、子ども達は積極的に探していました。また、ペットボトルマラカスは乳児クラス同様に振って音を楽しむ姿も見られ、廃材が楽しい遊びに変わることを知る機会となりました。



<5歳児クラス>

合言葉は「リサイクルマーク」
エコマークや JAS マーク、レインフォレスト等について教えてもらいました。その後、お買い物ごっこを楽しみ、自分の持っているマークと商品に見立てた玩具についているマークを見比べながら、「これで買える！」と選んでいました。活動を終えた後もお皿を裏返してマークを見つける姿が見られ、今回の体験を通して学んだことが、子ども達なりに日々の生活の中にもつながっていると感じました。